

space R design Times

# Enjoy! Vintage Bldg.

FROM FUKUOKA

VOL.02  
2014



冷泉荘のリノベーション。

ひとつもまちも再生した

建物とともに、

スペースRデザインが提案する  
ビンテージ賃貸の  
作り方、活かし方。



「開かれていること」、「親しみがあること」、そして「最先端であること」。スペースRデザインが手がける冷泉荘のリノベーションプロジェクトは、この3つのキーワードを柱に動いている。「開かれている」とは誰が来てもいいオープンな雰囲気。「親しみがある」とは愛着を感じる付加価値や特徴。「最先端」とはここにしかない新しい歴史を意味した。やがてプロジェクトが動き出し、冷泉荘には個性的な店やオフィスが入って情報を発信し、ここをめざ

して遊びに来る人たちが集まり、人々の交流によってこれまでにないまったく新しいコミュニティができあがっていった。以前と比べると少し寂しかった道路には「ひと」の流れがよみがえり、「まち」もどこか親しみやすい雰囲気になったように感じる。冷泉荘という建物のリノベーション＝再生を通して、「ひと」や「まち」のエネルギーも再生すること。そして新しい文化が生まれること。冷泉荘の歩みとともに、私たちがつかんだ発見を振り返ってみたい。